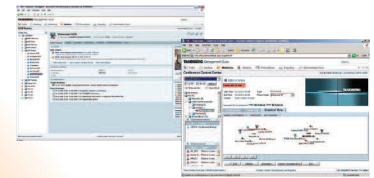
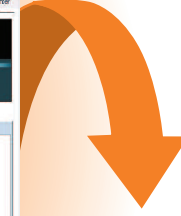
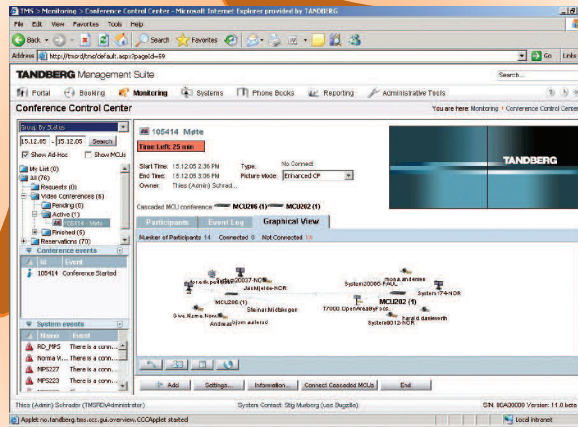




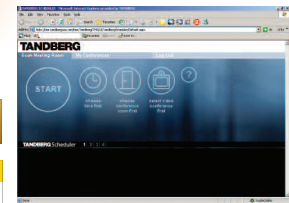
システムの管理



診断、監視、報告



コラボレーション



スケジューリング

# TANDBERG Management Suite

TANDBERG Management Suite (TMS) は、全ビデオ会議ネットワークの管理・運用を行う、システム管理者の負担を軽減するソフトウェアです。既存のアプリケーションと連動することで資源を有効活用しながら、オンサイトならびに遠隔地にある全システムを完璧に監視・管理します。

TANDBERG Management Server:  
TMSのハードウェア製品(オプション)  
小規模から中規模までのビデオ会議システムを容易に管理します。



## プロフェッショナル・サービス

投資された機材を最大限ご活用いただけますよう、TANDBERG インフラ製品の設置とトレーニングをTANDBERGの専門家がお手伝い致します。

## スケジューリング

- ビデオ会議、電話会議、Web会議、およびデータ会議の予約あるいはアドホックな開催が可能
- Microsoft Outlook<sup>®</sup>、またはIBM Lotus Notes<sup>®</sup>を利用しての、会議のスケジュール、会議室の予約、および参加者の呼出が可能\*

## コラボレーション

- Microsoft<sup>®</sup> Office Communicator<sup>®</sup>に対応\*
- IBM Lotus Sametime<sup>®</sup> Connectに対応\*

\*ソフトウェアオプション

## 管理

- オンサイトならびに遠隔地にあるシステムの利用状況、アドレス帳、予約状況、およびソフトウェアバージョンを管理
- 直感的なWebブラウザベースのインターフェース
- ネットワークとビデオ会議端末のマルチベンダー管理に対応
- ビデオ会議のオンサイトまたはリモート管理
- 様々なプロトコルによるビデオ会議を管理(H.323あるいはSIP、ISDN、V.35、および混在環境)
- ビデオ会議端末、MCU、GatekeeperおよびGatewayを直接管理
- 24時間稼動を可能にする、複数サーバによるリダンダント機能
- アクティブ・ディレクトリやH.350を含む、アドレス帳の自動作成方式に対応

## 監視/報告

- システムごと、会議ごとに詳細な記録を取得
- 異常時に素早く対応できるインテリジェントな診断機能搭載
- 必要な情報にすぐアクセスできる、システムの概要情報ページ
- 未解決のチケットと、推奨される解決方法へのリンクが一緒になったリスト
- 総合的なネットワーク監視に対応 - HP OpenView、IBM Tivoli<sup>®</sup>、NetCo<sup>®</sup>、その他のSNMPネットワーク監視ツールとの統合

## 管理機能

### カンファレンスコントロール・センター

会議全体をひとつの画面で閲覧  
会議および参加者の接続制御  
会議ごと、システムごとの情報の取得  
システムアップグレード

予め予約された時間、および即時のソフトウェア更新  
リリースキーの取り込み/書き出し

### システムコントロール

アドレス帳へのアクセス  
システムの監視と報告  
ソフトウェアのアップグレード  
会議の開始/延長/終了を操作  
画面レイアウトの変更  
音声調整ならびにミュートのオン/オフ  
マイクのオン/オフ  
システムのアドレス帳の直接書換え  
システムのモニタにメッセージ送信  
異常なシステム設定の探知

### リモートシステムサポート

アドレス帳へのアクセス  
ソフトウェアのアップグレード  
システムの監視と報告

## 対応言語

英語、中国語(簡体字)、および日本語  
システムの予約とスケジュール機能は15言語で対応

## インテリジェントなチケットシステム

自動のチケットシステム(オープン/クローズ)  
チケット優先度のカスタマイズ  
予約された会議の開催に先立っての積極的なシステムチェック  
インテリジェントなチケット・ハンドリング  
診断メッセージと解決法の提案  
システム・ステータス、Gatekeeperのステータス、SNMPの設定  
、ISDN/IPの設定と情報

## ネットワーク・モニタリング・サポート

HP OpenView、IMB Tivoli<sup>®</sup>、NetCool<sup>®</sup>、その他のSNMPネットワーク監視ツールとの統合

## アドレス帳

コーポレート・ディレクトリは複数のアドレス帳とフォルダの作成が可能で、エンドポイント端末からの参照・検索が可能  
サーバ・ベースでのTANDBERG、Polycomアドレス帳、あるいはH.350のホワイトページの利用が可能  
集中管理可能なサーバ・アドレス帳  
複数のアドレス帳の作成  
無制限のエントリ検索  
Gatekeeper、ILS、およびLDAPからの自動取込み対応  
(1つまたは複数ソースに対応)  
アクティブ・ディレクトリやH.350を含む、10以上のアドレス帳の自動作成方式に対応  
国内・国際通信のダイヤルルールに自動対応  
ISDN/IP番号を自動認識  
国番号やGateway発信番号に自動対応

## ユーザ管理、セキュリティおよび認証

TANDBERGの端末およびMCUからのFTP、audit log対応  
TMS機能と端末へのアクセスの限定が可能  
ユーザプロファイルの定義と管理  
複数のセキュリティ・レベル分け  
Windows<sup>®</sup>の認証機能を利用したシングル・サインオンに対応

## テンプレート

カスタマイズされたテンプレートの作成、管理、各ビデオ会議システムに配布可能  
音声、画像、ネットワーク、および帯域の選択による設定可能  
TMSより自動構成で大量反映  
システムにより保護可能な固定のセッティング・テンプレートの作成機能

## バックアップ

毎日の設定の復旧作業で、正しい設定での運用  
システム設定のバックアップ可能  
誤って削除した設定の復旧が可能

## モニタ機能

マップモニタ  
グラフィカルなマップモニタ  
背景画面のカスタマイズ可能  
通信/システム状態をグラフィカルに表示

## イベント告知

全てのSNMPネットワークにイベントの告知が可能  
個人やグループに対して、電子メールで告知可能  
イベント告知・ログ取得:システム・ブート、リンクアップ/ダウン、接続エラー、接続開始・終了、レスポンス開始・終了  
Downspeeding、アップグレード開始・スケジュール終了  
Gatekeeperへの登録完了、バッテリー電圧低下、パスワードエラー、認証失敗

## 支払い情報

スケジュールリングのための課金あるいはアカウント・コード  
コスト分析/会計向けの課金あるいはアカウント・コードを含む  
コール詳細記録

## 通信ログおよび総計

端末、MCU、Gatekeeper、およびGatewayからのCDRキャプチャ

通信ログを画面に表示、Excelファイルで取得可能  
会議の詳細データをグラフィカルに表示  
複数のレポート・フォーマット:画面上、PDF、あるいはHTML  
- 受発信回数  
- ROI計算  
- 接続日時と接続時間  
- 使用帯域使  
- ネットワーク・タイプ  
- 受発信番号  
- データ・グラフ、チャート形式で総計資料の保存  
- ユーザ別の予定会議数  
- ネットワーク、Gatekeeper、ISDNインターフェイス  
- 認証失敗数  
- エラーの総計  
- バッテリーの状態

## コールルーティング

ベストインプレッション・カスケードと接続料金最小化  
スケールアップ対応  
IP/ISDNで自動コール・ルーティング  
IP/ISDNで接続料金最小化ルーティング  
MCU、Gatewayやネットワークの自動選択  
MCUカスケード対応 (V.35、SIP、H.323、およびH.320)

## スケジュールリングと予約\*

ビデオ会議システムおよび会議室の同時予約が可能  
繰り返し行われる会議や映像リソースの予約が可能  
会議予約の作成、パスワード保護、エディット、あるいは削除が可能  
Web会議やデータ会議の追加可能  
予約時に参加者を追加・変更可能、接続中に参加者の追加・削除可能

アドホック会議、あるいは事前予約の会議への接続可能  
会議にかけてくるサイトのリソースの予約管理  
(ISDN、IPv4、およびIPv6による電話やビデオでの参加)

1対1通信あるいは複数拠点会議の予定可能  
会議のロックにより新たな参加者の制御  
電子メールで参加者を招待  
会議名のカスタマイズ

## スケジュール一覧

予約済み会議、リソースや参加者の一覧可能  
会議状態をリアルタイムで一覧可能

## Web会議およびデータ会議

WebEx会議とテレビ会議を総合スケジュールリング  
会議参加者によるアプリケーションの共有やドキュメントの編集が可能(WebEx、Microsoft Live Meeting、あるいはTANDBERG See&Shareが必要)  
会議参加者がWeb会議に直接リンクするよう招待メール作成

## Microsoftとの統合

EXCHANGE SERVER  
Microsoft Outlookを使用して会議のスケジュール、会議室の予約、参加者の招待が可能  
Microsoft Exchange Server 2000あるいは2003が必要  
OFFICE COMMUNICATOR  
Office Communicatorより単発会議の開始可能  
Microsoft Live Communication Server 2005が必要

## IBM Lotus Domino<sup>®</sup> Serverとの統合

IBM Lotus NotesあるいはLotus Sametimeを使用して会議のスケジュール、会議室の予約、参加者の招待が可能  
Microsoft Windows<sup>®</sup>上で稼動するIBM Lotus Domino Server V6.xが必要

## 冗長機能

アプリケーションのリダンダンシー  
データベースのクラスタリング

## システム要件

### TMSサーバ要件(必要最低要件)

RAM:1GB  
CPU:2GHz以上のPentium互換  
OS:Microsoft Windows 2000 SP4以降、または2003 Server SP1以降(英語/日本語/中国語サポート)

### TMSクライアント要件

Internet Explorer 5.5以降、またはFirefox 1.5以降(Java Virtual Machine Runtime Engine 1.5.0以降必須)  
**See&Shareサーバ要件**(See&Shareオプションをインストールする場合)  
CPU:500MHz以上のPentium互換  
OS:Microsoft Windows 2000、2003、またはWindows XP  
RAM:256MB  
HDD:20MBのディスク空き容量  
**See&Shareクライアント要件**  
Internet Explorer 5.5以降  
TMSとSee&Shareは同一サーバへのインストールはできません。

## ソフトウェアオプション

Microsoft Office Communicatorパッケージ  
Microsoft Exchangeパッケージ  
IBM Lotus Sametimeパッケージ  
IBM Lotus Sametimeパッケージ  
サードパーティによるTMS予約画面カスタマイズ用のAPIパッケージ  
Network Integrationパッケージ(Cisco<sup>®</sup> IP/VC 3540、Polycom<sup>®</sup> MGC (Accord) MCU、IP MCU対応RADVISION)

\*TMSはTANDBERG Schedulerを含みます。

システムの機能はネットワーク環境やソフトウェアによって変わることがあります。すべての仕様は予告無く変更されることがあります。

本書に使用されているすべての画像およびイメージ図は表象を提供することのみを目的としています。部品供給の状況により実物と異なる場合があります。

TANDBERGは米国およびその他の国々における登録商標または商標です。

その他全ての商標は個々の商標権者に帰属します。



株式会社メディアプラス / MEDIA PLUS Co., Ltd.

Tel.03-3237-9003 Fax.03-3237-9005

VC.03-3237-9006

http://www.mediaplus.co.jp

sales@mediaplus.co.jp

## TANDBERG MANAGEMENT SERVER

### CPU & メモリー

Intel Pentium 4 LGA775 CPU (Max. 3.6GHz、800MHz FSB、1MBキャッシュ)  
240-pin DIMM x 2、最大2GB搭載可能、DDRRII 400/533

### BIOS

Award System BIOS  
Console redirection対応  
Power on after power fail対応 (BIOSオプション)  
By-pass enable/disable (BIOSオプション)

### PCI拡張スロット

On-Board 32bit/33MHz Mini PCI Socket x 1 (Master)

### ストレージ

IDE 3.5インチHDD Stand Type x 1、またはSlim Type x 2  
SATA 3.5インチHDD Stand Type x 1、またはSlim Type x 2  
On-Board Compact Flash Socket (Primary Channel)

### 冷却システム

On-Board 40 x 40mmファン x 2  
System 40 x 40mmファン x 2 (後面)

### イーサネット

Marvell 8053 x 4 (PCI Express x 1) : & #28; Copper (Base T、RJ45 with LED) GbE port x 4 (1、2、3、4) & #28; LAN 1&2 support by-pass function

### システムコントロールとインジケータ

電源LED x 1 (前面)  
HDD Active LED x 1 (前面)  
AT電源スイッチ x 1 (後面)

### システムインターフェース

COMポート x 2 (前面 x 1、後面 x 1)  
USB2.0ポート x 4 (前面 x 2、後面 x 2)  
GPIO: 4 in/4 out

### 動作温度・湿度

動作温度: 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)  
動作湿度: 10% ~ 90%  
保管・輸送温度: -20°C ~ 80°C (-4°F ~ 140°F)  
(結露なきこと)

### 電源

100-240VAC、50~60Hz  
消費電力: 最大250W

### 機器サイズ

高さ: 44mm  
幅: 426mm  
奥行: 419mm  
19インチラックマウント可能、高さ1U



2006年7月現在